

ゆく年くる年〈講演会〉

「激変の日本 2009年を祝る!」

「丑年は心元気で」



講師…**児嶋 昭氏**
〈西日本新聞社 取締役編集局長〉

こじま あきら…昭和31年、福岡市出身。福岡高校、九州大学(経済学部)卒。1980年西日本新聞社入社。北九州支社、社会部、東京支社などで勤務。社会部、東京報道部、文化部のデスクを経て、'04年3月から熊本総局長、'05年8月から社会部長、'08年6月から現職。

ナビゲーター
講師
神田 紅師匠



一年にしましゅう!
来年を知り元氣な



講師…**箱 成風氏**
〈タオコーポレーション主宰〉

はこしま じょうふう…昭和15年福岡市出身。早稲田大学第一政経学部卒。二級建築士、インテリアコーディネーター、宅地建物取引主任者。現代家相研究会、大乗推命学会福岡教室主宰。岩田屋コミュニティーカレッジ講師。

◇日時 **2008年12月13日(土曜日) 午後3時~5時30分** *受付2時30分~
◇会場 **エルガーラホール(7階中ホール)** 福岡市中央区天神1-4-2 ☎711-5017
◇参加費 **2,000円** ※「チケットぴあ」「びあステーション」「ファミリーマート」で11月11日より発売。Pコード 614-674

限定60名様

ゆく年くる年〈忠臣蔵と忘年会〉

~義士会発祥の地、福岡。~

忠臣蔵を国民的ブームに盛り上げた先人 福本日南(九州日報(西日本新聞の前身)社長)が、1908(明治41)年12月14日、博多・崇福寺で開催した第一回義士会。一白米3合ずつを持ち寄った男女400余人は、聖福寺の東瀛老師の講話のあと、因縁の粥をすすって深夜散会した。一と記録に残っています。以降、日南は帰京し東京で毎年開催、泉岳寺の義士会へと今も続いています。第一回義士会から100周年を迎えた記念に、神田 紅が講談「忠臣蔵」で魅せます!感動講談、そして素敵な雰囲気の中で美味しく楽しい忘年会。先着60名様限定です。

講談 赤穂義士伝より「南部坂雪の別れ」

一胸に血をはく南部坂 忠義に厚き大石も 心を鬼にいとまごい 寺坂来たれと 雪の中一女達の忠臣蔵と言われる。浅野内匠頭の妻のあぐり様の元へ、大石内蔵助は別れを告げに血判状を持って訪れるが、吉良方の間者(スパイ)がいるのを恐れ、本心を打ちあげられずに帰って行く。その真夜中…。大石内蔵助 享年45歳。辞世「あら楽し思いははるる身は捨つる 浮世の月に霧る雲なし」



この季節に聞く忠臣蔵は、ジーンと心に染み入ります



講談は、映画でもないテレビでもない生きた人間ドラマ。泣いて笑って感動しますよ!

◇内容 **石蔵酒造 博多百年蔵** 博多区堅粕1-30-1 TEL651-1986
*講演会終了後、エルガーラからマイクロバスで移動します。
◇参加費 ●「忠臣蔵と忘年会」のみは **6,500円** 事務局までお申し込み下さい。
●「講演会と忠臣蔵と忘年会」は **8,000円**